

第91回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】山新脇の歩道が途切れていることについて

山新東海店とイオン東海店の間の歩道が途中で切れていて危ないため、歩道をつくって欲しい。

⇒【村長コメント】

お店を建てる際に、村と協議するとき、歩道を村道でつくるのか、山新の土地としてつくるのかで協議があったはず。お店側に、安全対策はしてほしいと、村から申し入れはしている。その際に、調整できなかった可能性もある。①歩道が途中で切れている経緯 ②どうすれば歩道がつかれるかを担当課に確認する。

⇒【道路整備課コメント】

ご意見のありました山新脇の歩道は、村道ではなく、山新東海店の敷地内にある通路であり、駐車場出入口から搬入車出入口までをつなぐための通路でした。

私有地の土地利用に関することから、本通路について、店舗建設の際に村が協議した記録はなく、村から安全対策についての申し入れ等はしておりません。

現状、村が私有地内の通路について延伸を求めることも難しいと考えております。

しかしながら、ご意見のとおり、通路が途切れている箇所から利用者が村道に出て危険なことから、注意喚起の対策を村で検討してまいります。

【2】常磐線で村が東西に二分化されていることについて

村内で常磐線の東西の車の移動は高架橋しかない。既存の踏切を拡張してほしい。駅の下にトンネルをつくる方法もあると思うが、予算や時間がかかると思う。アクセスを良くして、住民の通行権を確保すべき。

また、船場とフローresta須和間の間の新しい村道は、何のために広げたのか。地域間の交流や利便性向上の為に作った訳ではないのか。

⇒【村長コメント】

現状、通行権は確保できている。また、昨年、須和間の踏切は改良を行い、歩道をつくり、車がすれ違いで通行できるようにした。白方にあるかまぼこ型踏切についても、片側は歩道をつけることになった。今年から工事が始まる。

踏切の拡張については、既存で交通量の多い箇所は、改良を行うことが可能だが、歩行者が通れない箇所を広げたりするといった場合は、その分接触事故の可能性が増加してしまうし、村だけでなく民間企業との調整が必要なので、ハードルが高い。極端な話にはなるが、小さい踏切を広げるよりは、“駅の下を抜いて新しい道路をつくる”イメージの方がより発展性がある気がする。

船場とフローresta須和間の間の新しい村道はそこに住む生活者の生活環境を整えるために作った。現状、それぞれの生活者に必要な道路を整備しているのだから、「東西のアクセスや利便性向上のために道路を繋げばいい」という今回の提案はご意見として受け止める。また、須和間の踏切の南側に新しい高規格道路(準高速道路)をつくる予定。真崎浦に橋を掛けて平原工業団地を抜けて6号にぶつかる道路である。完成すれば東西をつなぐ幹線道路となるので、現状よりもアクセスや利便性は良くなる。

【3】役場窓口の土日開庁について

仕事をしていて、平日に介護申請に行くことが難しい。月に1, 2回土日に開庁してほしい。

⇒【村長コメント】

月2回窓口を延長することで対応できていると思っているが、すべてはフォローしきれていない現状にある。今後地域包括支援センターを民間に委託することで、より柔軟に対応できる部分があると思っている。また、総合相談支援課を創設し、(現在なごみ⇒今後総合福祉センター「絆」へ移転)相談業務を集約して行う“ワンストップ相談窓口”を設けたが、平日だけだと利用できないといった声も上がってくると考えられるので、そこも含めて検討していきたい。今回のような声が多くなってきた際は、窓口の在り方を再度検討していく。

まずは担当課に電話をかけて相談してほしい。事情があれば郵送での申請も可能になるはずであり、状況をお聞きして対応を提案できると思う。

【4】イオン東海店脇駐車場の間に横断歩道をつくってほしい

イオン駐車場の間の道について、歩行者が多いことから安全対策のため横断歩道を設置してほしい。横断歩道のないところで渡る人が多く、先日も近くで事故があった。

⇒【村長コメント】

横断歩道の設置は警察の所管であり、まずは警察との協議が必要となる。警察の協議が通れば場合によって村で設置するケースもある。担当課に話をしておく。

⇒【環境政策課コメント】

ご意見のありましたイオン駐車場の間の道路に安全対策のため横断歩道の設置につきましては、ひたちなか警察署に確認しましたところ、村以外のところから既に要望書が提出され、ひたちなか警察署において現場確認も終えておりました。

ひたちなか警察署としては、高校生などの通行量が多いことから当該箇所への横断歩道の設置は必要であると判断し、茨城県警察本部へ上申書を提出したと回答をいただいております。

現在は、茨城県警察本部による現場確認および茨城県公安委員会の意思決定を待っている状態と伺っております。

村としましては、横断歩道設置の実現に向け、進んでいるものと認識しており、引き続き関係機関と協議を進めてまいりたいと考えております。